

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	情報処理学Ⅰ				授業形態	講義			
科目コード	531830	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	
担当教員名	矢野 俊樹							ICT活 用	○
授業概要	ITは今や社会基盤となり、ビジネスの世界のみならず誰もが身につけるべきスキルである。 本授業ではそこから一歩進んで、ITの専門的な知識を体系的に学ぶ、まさにビジネス社会におけるITの専門家としての第一歩目となる科目である。 実務家教員が担当する本科目では、授業内容を実務でのエピソードやニュースと結びつけて分かりやすく解説を行う。								
関連する科目	情報処理学Ⅱ								
授業の進め方 と方法	テキストに基づいて講義形式で進行する。理解度に応じてその都度副教材を使い補足を行う。 小テスト及び資料の管理や連絡事項についてはユニバを通じて行う。								
授業計画 【第1回】	第1回 オリエンテーション、ハードウェアの仕組み 授業の進め方や評価方法、テキストの使い方を紹介する。								
授業計画 【第2回】	第2回 コンピュータの基本構成 コンピュータシステムの基本構成について図解を用いて説明を行う。								
授業計画 【第3回】	第3回 補助記憶装置・記憶階層・入出力インターフェース 補助記憶装置・記憶階層・入出力インターフェースについて、図解や写真を用いて説明を行う。								
授業計画 【第4回】	第4回 データの表現・文字コードと2進数 データの表現・文字コードと2進数についてテキストを中心にして説明を行う。分かりにくい概念なので演習問題も合わせて解くことで理解の切り口を増やす。								
授業計画 【第5回】	第5回 ソフトウェアとマルチメディア ソフトウェア及びマルチメディアについて、テキスト及び実際のメディアを見ることで説明を行う。								
授業計画 【第6回】	第6回 ファイル管理 ファイル管理の方法について具体的な方法を学ぶ。								
授業計画 【第7回】	第7回 アプリケーションソフトウェア ソフトウェアについて、概要と実際に使われているソフトウェアを中心にして学ぶ。								
授業計画 【第8回】	第8回 マルチメディア技術 マルチメディア技術について、最新の情報を織り交ぜながら解説を行う。								
授業計画 【第9回】	第9回 システム構成 システム構成についてテキストを中心にして説明を行う。システム開発の手法などについてもこの回で解説を実施する。								
授業計画 【第10回】	第10回 ネットワーク 分かりにくい概念であるネットワークについて図解をもとに説明を行う。頻出の試験問題も扱うことで、理解の切り口を増やす。								
授業計画 【第11回】	第11回 インターネットの仕組み 身近なインターネットについて、その仕組みを図解と実際のPCの操作によって学ぶ。								
授業計画 【第12回】	第12回 情報セキュリティ 今後重要性を増していく情報セキュリティの基礎について学ぶ。								
授業計画 【第13回】	第13回 情報セキュリティ対策 今後重要性を増していく情報セキュリティ対策について、実践できる具体的手法を学ぶ。								
授業計画 【第14回】	第14回 検定試験対策①：試験形式など全般的な説明、模擬問題の実施								

授業計画 【第15回】	第15回 検定試験対策②：模擬問題の実施
授業の到達目標	ハードウェアに関する知識等、ITの基礎的な知識を体系的に修得ことで社会に必要なITリテラシーを身につける。【汎用的技能】 具体的には情報処理検定3級の合格レベル到達である。【汎用的技能、態度・志向性】
学修成果との関連	3. 現代社会に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	〈予習〉 指定のテキストの授業の範囲を読んでおくこと。(30分)
授業時間外学習【復習】	〈復習〉 学習した範囲を繰り返し反復すること。(1時間)
課題に対する フィードバック	課題の結果の傾向を分析し、理解が足りない点について授業中に重点的に解説を行う。
評価方法・基準	課題の提出率及び内容：70% 授業での態度と貢献度：20% 検定試験または模擬試験の結果：10%
テキスト	『身につく！合格！ITパスポート 有馬 一也, 谷藤 修栄,』 2019年初版 (株) インフォテックサーブ
参考書	別途指示
備考	授業の資料はユニバへアップロードする。 欠席者は各自で学習を行い、不明点があればオフィスアワーに研究室を訪ねること。